

## 第2回宮津市小中一貫教育研究推進協議会

■日 時	平成28年12月19日(月)午後3時～		
■場 所	宮津市保健センター(大会議室)		
■出席委員	徳永 俊太、吉田 陽一、田崎 浩二、小西 浩美、井隼 直子、中西 弥生、 高松 和子、前田 友子、森岡扶規子、森島 博親、細見 晋一、今井 将昭		
オブザーバー	与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校校長 岩佐 好正		
■内 容			
1 開会あいさつ(会長)			
2 議題			
(1) 宮津市の教育の現状・課題を踏まえての小中一貫教育の在り方	[資料1]		
(2) 宮津市小中一貫教育基本方針(案)について	[資料2]		
(3) 専門部会の開催について	[資料3]		
(4) 今後のスケジュール	[資料4]		
(5) その他			
・ 小中一貫教育フォーラムについて(兼第4回研究推進協議会)	[資料5]		
・ 第3回研究推進協議会について			
3 閉会			

### 【会議議事録】

#### 1 開会あいさつ(徳永会長)

現在、国において学習指導要領の改定が行われている。小中一貫教育の議論をする中で、しっかりとその土台を形成し、本日は宮津市小中一貫教育基本方針(案)が示されると伺っており、こうした国への改定にも対応できていけるものと考えている。

本日、委員の皆様におかれては、十分な議論をお願いしたい。

[事務局]

#### ●出席者等の報告

本日の出席委員は、宮津市小中一貫教育研究推進協議会(第2回)出席者名簿(別紙)のとおり。また、与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校 岩佐校長にオブザーバーとして出席していただいている。なお、教育長、教育次長は急遽、議会日程変更に伴い、欠席のため御了承願います。

[議事進行: 徳永会長]

#### 2 議題

##### (1) 宮津市の教育の現状・課題を踏まえての小中一貫教育の在り方

[資料1(宮津市の教育の現状と課題を踏まえた小中一貫教育の在り方)により事務局説明]

【質疑】

Q. 質の高い学力の向上とある一方で、小4の府学力診断テストでは10年連続府正答率を下回っている。この結果を受け、各小学校の取組はどうしているのか。

A. 何も手を打っていないわけではない。学力向上対策委員会で資料提示し、各校で対策を練るほか、各校毎で学力向上プログラムを策定し、様々な取組を行っているところ。授業の目当てや振り返りを子ども自身が行うなど、しっかりと考えることができる習熟などに取り組んでいる。こ

これは今後のキーワードになると考えている。

Q. 最終的に子どもに関わる現場の先生の指導がしっかりとできているのかという所だと思う。

1・2年生、3・4年生には、それぞれの学年では普通に理解できることは指導していると思う。やってもできない子どももいるだろうが、まずはしっかりと取り組むことが重要と考える。

A. 学年では、しっかりと取り組んでいる。しかし、つながりがしっかりとできているかという部分ではどうかと感じている。

Q. 小中一貫教育の心配もある。いじめられている子どもなどはリセットされ改善されるケースなど、逆に反対もあるのではないか。子どもは成長が著しいため、次の学校に生活を持ち込んでいるという危険性もあるのではと感じる。

A. 中1ギャップが挙げられる。来年度から養老中学校が橋立中学校へ行く予定。小中一貫教育は教員の連携も重要になる。

より子どもに応じた指導が重要であり、メンタル面で気をつけなければならない。橋立中学校は4小学校が一緒になるため、小中の教員側のしっかりとした連携も必要と考える。

Q. 資料1の2(3)の校種間連携に係る生徒意識調査結果(丹後教育局実施)の橋立中学校のアンケートはなぜなかったのか。

A. アンケートは実施している。しかし、その中で宮津の子どものみ抽出することは困難(他町小学校も含まれている)。次年度以降、丹後教育局に対して小学校別のデータの取りまとめを依頼していきたい。

Q. 私の感覚では、橋立中学校1年生のデータは、本データとはかなり相違すると考える。

小規模から大規模への不安を痛感していると思う。

A. 来年度からはしっかりと提出させてもらいたい。

## (2) 宮津市小中一貫教育基本方針(案)について

[資料2(宮津市小中一貫教育基本方針(案)について)により事務局説明]

### 【質疑】

Q. 小中一貫教育は、準備ができたブロックからスタートすることでよいか。

A. スケジュールにもあるが、試行的に実施していく予定。

Q. 格差が出ることはないか。

A. 大きな格差が出ないようにと考えている。

Q. 資料P4宮津市教育振興計画(施策)との関連として、質の高い就学前教育・保育の中に、“小学校の生活や学びに適應できるようにするためのプログラムを作成”とあるが、保育士が作成するのか。

A. 資料P7のとおり、保幼小接続プランの作成を示しており、市全体で保幼小の組織も含め検討していかなければならない。(丸投げしないようにしたい。)

Q. “10年間を見通した”と“9年間を見通した”とあるが、教育過程の編成は、幼稚園は含まれるのか。

A. カリキュラムに係る部分は、含まれると考えている。

Q. 当園は暁星幼稚園であるが、保幼の位置づけが小学校区単位となると、宮津小学校ブロックと

なる。しかし、当園には他ブロックからも通園されている子どももいるため、複数ブロックにまたがる。幼稚園教育を行う上で子どもが混乱しないようお願いしたい。

Q. 系統性の教育は重要な部分である。橋立中学校は連携、所管教育委員会も連携で進むことを示している。宮津市の小中一貫教育を進める上で、宮津中学校ブロックと栗田中学校ブロックの2ブロックを一括に進めることに危惧する。宮津市のプランニングはどうか。

A. 宮津中学校ブロックと栗田中学校ブロックを同時に実施していきたい。

Q. 宮津市が2ブロックで同時実施する上で、ガタガタすればどのように対応していくのかが心配。まずは、進めやすい栗田中学校ブロックを進め、宮津中学校ブロックに広げていく手法もある。結果、栗田中学校ブロックを参考に与謝野町の進め方に変化がある可能性もある。（逆もあると思うが。）

A. 御意見については預からせていただく。モデルとして2ブロックか1ブロックで実施するか。試行錯誤しながら次のステップへ移るなど。いずれにせよ、今後のスケジュールにも影響がでる。持ち帰らせていただき、検討させていただく。

## 【事務局】

資料P 4～5 小中一貫教育の内容・取組として、小中一貫教育の教育過程区分「1・4・3・2」区分を提案している。各園校の実情を聞かせていただければありがたい。

栗田中：現行の教育過程では、小学6年生が最上位の学年でリーダー制を発揮できる一方で、中学生になれば一番下になり先輩・後輩という縦のラインとなり、リーダー制を維持させた取組ができない。概ね小1～小4、小5～中1、中2～中3の区分は、これまでからも研究がされており、望ましいと考えている。

小1～小4では、小4のリーダー性をどのように保つかは今後学んでいきたい。中1と中3のそれぞれの良さは何かしら作っていきたい。

宮津小：一般的な区切りと考える。一体的なら理解できる。本市では分離型のため運用が重要。

基本的にはこの分類でよいと思う。ただし、就学前との関わりをどのようにするのか、何ができるのかを先進的な取組も参考に検討していきたい。

## (3) 専門部会の開催について

[資料3（宮津市小中一貫教育推進事業に係る検討・推進体制案）により事務局説明]

## 【質疑】

Q. カリキュラム作成部会について、保幼側のカリキュラムの検討も含まれるのか。

A. 全て含むこととなる。

Q. 含むのであれば、保幼側の職員は入らないのか。

A. 保幼の教頭、教職員の中に含まれている。

Q. 具体的な作業内容は、どういった形で提示されるのか。

A. どちらの部分でも、事務局がたたき台を作成し、お示ししていきたい。

先行実施されている他市も参考にしていきたい。

#### (4)今後のスケジュールについて

[資料4(宮津市小中一貫教育推進事業 今後のスケジュールについて)により事務局説明]

- ・1月に実施する第3回会議で基本方針(最終案)を確定したい。その後、教育委員会定例会で議決いただき、正式決定する方向。
- ・推進計画案も作成していく。
- ・第4回会議で小中一貫教育フォーラムを開催予定。
- ・専門部会も同時並行で開催していく。
- ・2月には市保幼小中校園所長会を開催予定。

#### 【質疑】

Q. 市保幼小中校園所長会は、それぞれの施設長と思慮するが、橋立中学校も含まれるのか。

A. 基本的には入っていただきたいと考えている。市全体で就学前から含めるとなると資料3の左側の縦軸としての位置づけとしている。

#### (5)その他(小中一貫教育フォーラムについて)

[資料5(宮津市小中一貫教育フォーラム案)により事務局説明]

- ・日程は、第2候補の2月12日(日)で実施予定
- ・場所は、みやづ歴史の館 文化ホール
- ・講師は、現在調整中
- ・広報等で周知徹底する予定

#### [徳永会長]

・現在調整中だが、講師の初田先生は、義務教育学校9年間について、大学の中での研究を一緒にさせていただいている。

小中の学習面をどのようにつないでいくのかということをお初田先生には伝えている。

- ・全体を通して、意見等があればお願いしたい。

**委員:** 小中一貫教育についての理解は深化していないが、宮津市の子どもたちを健全に育成する一つの手法と思っている。現場の先生も小中一貫教育をどの程度理解されているか不明だが、小中一貫教育の取組が頓挫しないようお願いしたい。

**事務局:** 本日は、小中一貫教育を進めていく上でその道筋となる方針を示させていただいた。こうしたものが、作成できないと現場の先生にも示していくことができない。本方針が一定固まれば説明もしやすくなると考えている。今ある会議も上手く使いながら小中一貫教育が現場の負担にならないようにしていきたい。

**委員:** 小中一貫教育について、職員もはっきり理解していない。橋立中学校からも子どもの様子を見て来てもらっている。逆に今後は園から小学校を視察するなど頑張っていきたい。

**委員:** 宮津小学校の大縄大会の見学に行かせてもらった。保育園側としても、小学校側との小中一貫教育のつながりのため学校見学する旨を当園職員に説明したところ。少しずつであるが、小中一貫教育に向けた取組が進んでいると感じている。

徳永会長：今後は、保護者にもどのように説明していくのかも重要な論点になる。（子どもたちにも同じことが言える。）

### 3 閉会〔事務局〕

小中一貫教育は、市長肝いりの事業である。途中で頓挫することはないと考えている。  
まずは、基本方針を策定し前へ進みたい。今後、内容等で何かあれば事務局へ連絡願いたい。  
フォーラムも事前に聞きたい点等あれば事前に教えていただければありがたい。

閉会 午後4時49分